

### 3. シンポジウムに関するアンケート調査結果

シンポジウムにご出席頂いただいた民間の建設関連研究機関の方を対象に、以下の3項目についてご意見をいただき、それを策定予定の国総研の研究計画、研究活動に反映させることを目的として、シンポジウムに関するアンケート調査を実施した。

①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

以下、その調査結果の概要と詳細を紹介する。

#### ●アンケート調査結果（概要）

##### 1. 対象

民間建設関連研究所（17社中9社回答）

##### 2. 回答の概要

①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

○PDは、テーマを限定してつっこんだ内容にして欲しかった。「日本が世界の中での存在感を明確にするための国土整備のあり方（日本が生き残るための要件）」

- ・高度でかつ多様な物作りを可能にしてきた人的資源の継承・再生
- ・アジアでの情報受発信基地となるための世界交通インフラ完備
- ・国民一人一人が事故責任に基づいて生活を営むのに必要なレベルの社会基盤整備は今後どうあるべきか？という議論が必要では。

○パネリスト間の意見交換があっても良かった。

○会社の技術戦略を立案する当たり、大きなよりどころとなるマスタープランを示して欲しい。

○シンポジウムでは時間が許せばフロア（参加者）からの意見発言の機会が欲しかった

○今後の国土政策の推進に当たって、官民の連携の強化という取組があってもあっても良いのでは。

②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

○行政部門と一体となって国土のグランドデザイン立案と社会への説明及び広報に積極的になることを期待する。最近のマスコミの報道は、建設事業がすべて悪（税金の無駄）といった論調が多い。現状無駄と思えるものが散見することは否定しないが、必要なものはまだまだ多い。

○基盤的な問題とともに、複合的な課題に積極的に対応して欲しい。バランスを取りながら、しかし総花的にならないようにメリハリをつけて、透明度を高めて国民の理解を高める努力をすれば国民の支援が得られる。

○民間技術開発に対するインセンティブの向上を視野に入れた調査、研究を進めて欲しい。  
・官学民の協調体制の強化  
・国のモデル事業、パイロットプロジェクトの促進  
・技術確立のための法制度・標準類の見直し

○現在の建設業界は、工事量の減少、コスト縮減の要求等の厳しい状況にある。民間では、研究開発投資余力が減り、厳しい現状を乗り切るための差別化技術、工期短縮等の合理化技術、コストダウン技術等の研究開発にしのぎをけずる状態にある。従って、例えば10年先を見据えた基礎的な技術の研究開発に資源（人、物、金）をまわす余裕がなく、唯一の国の研究機関である国総研には、10年先或いはもっと先を見据えた基礎的な技術やデータの蓄積及び公開、民間研究機関との共同研究体制の整備、官学産の垣根を越えた研究開発体制の構築等に力を注ぐことを期待する。

○国民の視点からの「国土創り」が大切だろうが、その社会資本性に携わる建設産業従事者への国民の暖かい「まなざし」を回復して頂きたい。

○従来は縦割りで実施できなかった横断的なテーマに取り組んで欲しい。

○社会資本整備を国民にわかりやすく円滑に進めていくためのシステム研究を期待する。

○建築・土木・港湾分野の統合を生かした研究開発領域の創造と推進

民間の技術力を生かした官民連携の研究開発の推進

プロジェクト提案型の新技術開発課題の提示と推進

LCE、LCMを考慮した受発注システムの変革推進

ISO等国际規格への対応に当たって、我が国の固有事情を反映した国内基準（JIS、工事技術基準等）の整備

③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

- 都市近傍の河川、港湾区域には多種多様な有害物質が蓄積されており、関係省庁、独法とともに除去、無害化のための指針となる基盤技術のあり方などの環境に関する研究。
- 事業計画段階で公正な経済効果の把握を可能にするソフト技術を早急に確立するための投資費用に対する便益効果に関する研究。ただし、安全については一概に効果のみを優先すべきではないことは当然だが、ハザードマップなどの情報公開によって一般市民も事故責任帰すべき部分もある。
- 東京湾、物流の研究課題を組み合わせて、具体的に実現する場所として「東京」を選び、「国際都市東京の再生」を課題としたプロジェクトに是非取り組んで欲しい。シンガポールと比して高速道路、港湾、空港、公園など劣っているが、それを克服するためにはどうすれば良いのか、という視点で課題は山積みである。
- 環境、情報、循環型社会などの次世代社会の構築につながる研究。
  - ・高度な情報、リニューアル技術を用いた都市再生手法の構築
  - ・バリアフリー機能を強化したまちづくり手法の検討
  - ・高度情報技術を活用した都市・地域省エネシステムの構築
  - ・I T S推進のための基準類・標準類の策定と法制度
- 「21世紀はものの豊かさと心の豊かさを両立しうる社会」の実現が望まれている。このためには、地震・台風等の自然災害に対して安全であると共に、環境と調和した美しい国土を実現する必要がある。従って、技術政策課題に対応する研究開発を着実に推進して頂きたい。
- 公共施設の国民生活への寄与の度合を客観的な数値で表す指標づくりをお願いしたい。国民の意思を反映した「優先順位」に従って「対費用効率」の高い施設が建設されると良い。
- 民間の研究開発ヘインセンティブが働くような技術政策の研究。
- モダンPMの考え方を取り入れたわが国の建設PMを早急に確立して欲しい。
- 建設コスト削減のためのL C E・L C M技術  
今後の建設事業の展開に必要な環境創造技術  
リスク評価（地震、風水害等）

●アンケート調査結果（詳細）

A社

①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

1. 基調講演及びシンポジウムは、大変興味深く拝聴しました。
2. 今後の国土政策の推進に当って、官民の連携の強化という取り組みがもっとあってもいいのではと思いました。

②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

1. 建築・土木・港湾分野の統合を生かした研究開発領域の創造と推進
2. 民間の技術力を生かした官民連携の研究開発の推進
3. プロジェクト提案型新技術開発課題の提示と推進
4. LCE、LCMを考慮した受発注システムの変革推進
5. 国際規格（ISO等）への対応に当って、我が国の固有事情を反映した国内基準（JIS、工事技術基準等）の整備

③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

1. 建設コスト削減のためのLCE・LCM技術
2. 今後の建設事業の展開に必要な環境創造技術
3. リスク評価（地震、風水害など）

## B社

### ①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

基調講演から全般にわたる内容は参考になりました。

パネルディスカッションはテーマを限定して、もっとつっこんだ内容にしても良かったのではないのでしょうか。

私は、「日本が世界の中での存在感を明確にするための国土整備のあり方（日本が生き残るための要件）」

- ・高度でかつ多様な物作りを可能にしてきた人的資源の継承・再生。
- ・アジアでの情報受発信基地となるための世界交通インフラ完備。
- ・国民一人一人が自己責任に基づいて生活を営むのに必要なレベルの社会基盤整備。

は今後どうあるべきか？といったテーマでの議論が必要と思います。

### ②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

独立行政法人と違って明確な政策関連研究所であることから、行政部門と一体となって、技術に限定することなく国土のグランドデザイン立案と社会への説明および広報にも積極的に参画されることを期待します。

最近のマスコミ報道を見ていると、建設事業のすべてが悪（税金の無駄）といった論調が目につきます。残念ながら現状では、無駄と思える物が散見されることは否定しませんが必要な物はまだまだ多いと考えます。

### ③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

#### ③-1 環境に関する技術

21世紀は環境の時代と言われています。21世紀の前半は、我が国が20世紀の後半50年にわたって成長してきた過程で残した負の遺産を処理しなければならないと思います。

都市近傍の河川、湖沼に代表される閉鎖性水域、港湾区域には多種多様な有害化学物質が蓄積されていることは調査結果が示す通りです。国土交通省がリーダーシップを取って、環境、厚生、農水、経済産業等の独法を含めた研究機関とともに除去、無害化のための指針となる基盤技術のあり方を研究し、学、産の研究機関とともに実用化研究をしていただきたい。

#### ③-2 投資費用に対する便益効果

②で指摘した「無駄という意見」に対する反論のため、事業計画段階で公正な経済効果の把握を可能にするソフト技術を早急に確立されるべきと思います。

ただし、安全に関する投資は一概に効果のみを優先することがあってはならないことは当然ですがハザードマップを用いた情報公開等によって一般市民も自己責任の原則が免れないことを周知すべきです。

「例」

我が国の国土特性から、戦前は人が住まなかったような山間部の沢の出口、急傾斜地の斜面あるいは崖下なども現在は居住区域として利用されており、豪雨・地震等の災害が発生するたびに責任が云々される。

これなどは利用者の自己責任に帰すべき部分も少なからずあると考える。

## 〔C社〕

### ①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

基調講演及びパネリストの発言により、国土技術政策総合研究所の役割目指すところについてよく理解できました。もう少し、パネリスト間の意見交換などがあっても良かったのではないかと感じました。

### ②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

基盤的なものからプロジェクトに至るまで時宜を得た課題が挙げられています。この度の改革で、より総合的に対応できるようになったと思われまますので、基盤的な問題への対応とともに、複合的な課題に対してより積極的に対応していただければと思います。バランスをとりながら、しかし総花的にならないようにメリハリをつけて、透明度を高めて、国民の理解を高める努力を払いながら進めていただければ、国民の支援が増えると考えます。

### ③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

国総研が取り組む研究の具体例として、「快適に憩える東京湾の形成」や「物流におけるマルチモーダル交通体系の構築」などを挙げてあらわれます。これらの研究課題を組み合わせる具体的実現する場所として「東京」を選び、「国際都市東京の再生」を課題としたプロジェクトを是非組んでいただくようにお願いします。

逆の言い方をすれば、まず東京を競争力のある住み良い国際都市として再生させるために必要な要素課題を選び、この研究開発に取り組んでいただくのが良いと考えます。

東京という具体的な対象を選ぶことにより、研究課題の評価がし易くなりますし、国民に具体的な成果を具体的に示すことができ、国総研の役割を国民により認められるようになると考えます。

国民は現在公共投資の削減を主張しています。その原因として十分に公共投資の状況を理解してもらえていない点が多分にあると考えますが、多くの納税者である都市住民が公共投資による恩恵をそれほど感じていないことにも一因があると考えます。

例えば、シンガポールのような都市国家が狭い国土に3車線の高速道路を張り巡らせ、成田空港よりも大きな空港を持ち、大水深の港を建設しています。

一方、東京は首都高は低速道路、空港も遠くて滑走路も不十分。満員電車で揺られての通勤。都内の公園も少ない。このような東京を競争力のある魅力的な国際都市とするためにはどのようにすればよいのか。

大きな障害として地域住民のエゴがあると思いますが、それを克服するためには、「このようにすれば国民にとって、東京都民にとって住み良い国になるのだというビジョン」を示して、国民の意見、都民の意見を見方にして政策を進めることだと考えます。そのようなビジョンの提示や、ビジョンの素案の作成、そして技術及び技術以外の多くの問

題の掘り起こしと解決等、課題は山積していると思います。

しかし、従来の体制に比べて、国土交通省という大きな体制の下では、課題の解決、総合的な対応はし易くなっているのではないのでしょうか。

ぜひ、東京が国際競争力を持ち、住み良い美しい都市になれるような具体策の提案をしていただけるプロジェクトの編成をお願いいたします。



**D社**

①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

新組織での意気込みが、大変感じられた。

②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

官としての役割を十分に発揮していただきたい。

③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

国の骨格をなす技術を研究していただきたい。

## 〔E社〕

①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

新しい省ができ、その「シンクタンク」としての「国総研」の意欲を感じ取ることができる素晴らしいものだったと思います。

②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

国民の視点からの「国土創り」が大切でしょうが、その社会資本整備に携わる建設産業従事者への「国民の暖かい『まなざし』」を回復していただきたいと思います。それによって美しい国土を国民に迷惑を掛けずに「美しく造る」ことができるようになり、美しい国民生活が可能となると思います。

③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

公共施設の国民生活への寄与の度合を客観的な数値で表す指標づくりをお願い致します。

国民の意志を反映した「優先順位」に従って、「対費用効率」の高い施設が建設されるとよいと考えます。

## F社

①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

基調講演、パネルディスカッション等は、ともに内容が充実しており大変良かった。

②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

建築に関する民間の研究開発の立場から国総研への期待を述べたいと思います。

現在の建設業界は、工事量の減少、コスト縮減の要求等の厳しい状況にあります。民間においては、研究開発に関しても投資余力が減りつつあり、この厳しい現状を乗り切るための差別化技術、工期短縮等の合理化技術、コストダウン技術等の研究開発にしのぎをけずらざるを得ない状態にある。従って、例えば10年先を見据えた基礎的技術の研究開発に資源（人、物、金）をまわす余裕がなくなりつつあるのが現状である。唯一の国の研究機関である国総研には、10年先或いはもっと先を見据えた基礎的な技術やデータの蓄積及び公開、民間研究機関との共同研究体制の整備、官学産の垣根を越えた研究開発体制の構築等に力を注いでいただくことを期待致します。

③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

「21世紀はものの豊かさと心の豊かさを両立しうる社会」の実現が望まれています。このためには、地震・台風等の自然災害に対して安全であると共に、環境と調和した美しい国土を実現する必要があると思われまます。これらに必要な研究開発技術課題は、式典資料の9頁以降に網羅されていると思われまますので、これらの技術政策課題に対応する研究開発を着実に推進していただきたい。

**G社**

①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

基調講演、パネルディスカッション及び国総研の説明等、構成、内容ともによかった。

②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

社会資本整備を国民に解りやすく、円滑に進めていくためのシステム研究に期待します。

③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

上記と関連して、モダンPMの考え方を取り入れた我国の建設PMを早急に確立して欲しい。

## ■H社

①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

独立行政法人とのねらい、役割の違いが分からず戸惑っていましたが、国総研のビジョンを分かり易く説明して頂き、私なりに理解が深まったことが大きな収穫でした。社会ニーズが多様化・高度化するなか、我々が技術戦略を立案するにあたって、大きなよりどころとなるマスタープランを示していただくことを期待します。

②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

民間技術開発に対するインセンティブの向上を視野に置いた調査、研究、技術開発を促進して欲しい。

- ・ 関連省庁、異業種との交流、連携を含めた官学民の協調体制の強化
- ・ 国が主体的に行うべきモデル事業、パイロットプロジェクトの促進
- ・ システム技術確立のための標準類・法制度等の見直し、整備など

③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

環境、情報、循環型社会といったキーワードを織り込み、次世代型社会の構築につながる研究に期待します。たとえば、

- ・ 高度な情報、リニューアル技術を用いた都市再生手法の構築
- ・ バリアフリー機能を強化したまちづくり手法の検討
- ・ 高度情報技術を活用した都市・地域省エネシステムの構築
- ・ I T S 推進のための規準類・標準類の策定と法制度の整備など

## I社

①式典全般に対する感想を自由にお聞かせ下さい。

第1部のシンポジウムは、時間が許せばフロア（参加者）からの意見、発言の機会が欲しかった。

②式典資料の5ページから「21世紀の美しい国土をめざして」というタイトルで当方の研究所の役割、今後取り組んでいく課題などを説明しておりますが、私どもの研究所に期待することがございましたらお聞かせ下さい。

各研究機関が統合されて国総研となったわけであるので、従来は縦割りで、実施できなかった横断的なテーマに取り組んで欲しい。

③私どもに取り組んで欲しいと思われる研究がございましたらお聞かせ下さい。

民間の研究開発へインセンティブが働くような技術政策の研究。